

令和5年度公立大学法人島根県立大学当初予算の概要

I 予算編成の考え方

令和5年度は、第3期中期計画期間（令和元（2019）年度～令和6（2024）年度）のうち、改革実施期間の3年目にあたり、理事長の強いリーダーシップの下での機動的・戦略的な大学改革を着実に推進していく必要があります。

令和3年度に設置した魅力化推進本部のもと、大学の魅力化に取り組みます。令和4年度から実施している「島根創生を担う人づくり事業」を拡大し、高大連携、地域貢献、学生の県内就職に対する支援を強化します。また、新型コロナの新たな局面を迎え、これまで中止となっていた事業の再開を目指すとともに、継続して学生の学習機会の確保に努めます。

一方で、設立団体である県からは年間約50百万円程度の経営努力を求められており、経費節減や事務事業の見直し、人件費の抑制等により自己財源の充実や運営経費の抑制に努め、大学運営の健全化を図る必要もあります。

このため、既存事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底しつつ、新型コロナへの対応を続けるとともに、大学の魅力化、島根創生を担う人づくりといった施策を重点的に実施する予算として編成しています。

II 当初予算の概要

1. 事業費総額

事業費総額は39億27百万円で、各種システム更新や物価・人件費増高の影響により、前年度予算（38億57百万円）に比べ1.8%の増（69百万円）となっています。

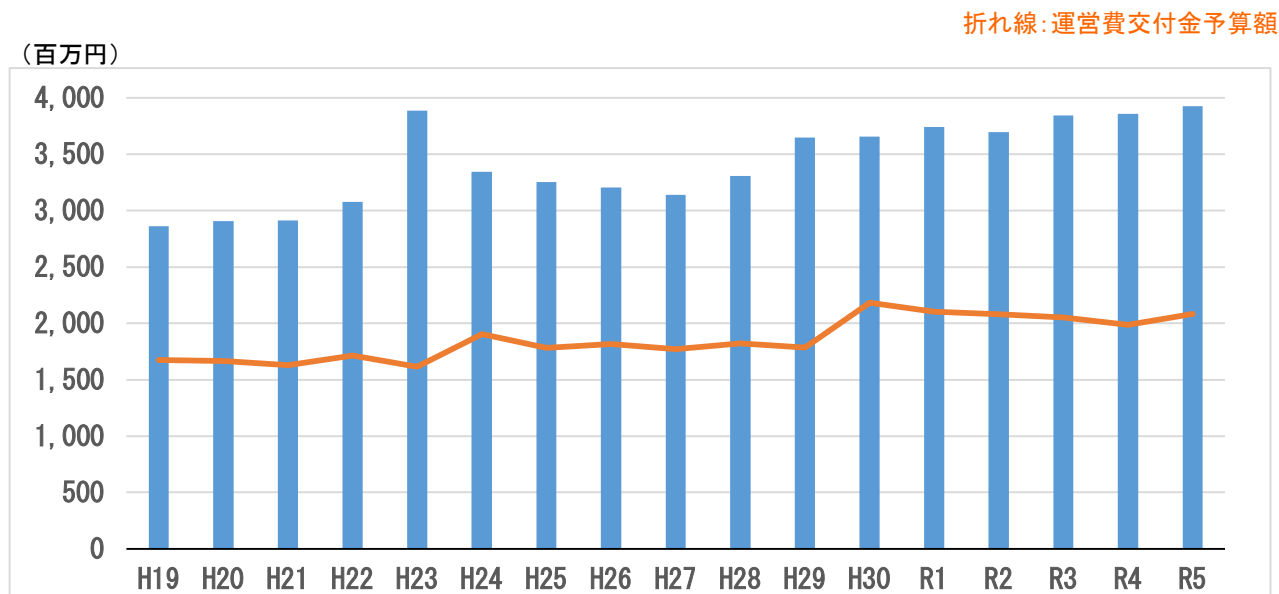
（単位：千円）

区 分	R5当初	R4当初	増 減	増減率
予算規模	3,926,374	3,857,624	68,750	1.8%

【参考】予算規模の推移

（単位：百万円）

H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
2,860	2,907	2,911	3,077	3,885	3,342	3,253	3,206	3,139	3,305	3,649	3,655	3,742	3,697	3,842	3,858	3,927



2. 収入予算

(単位：百万円)

区 分	R5当初		R4当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金(退手除)	1,941	49.4%	1,913	49.6%	28	1.5%
学生納付金	1,303	33.2%	1,271	33.0%	32	2.5%
外部補助金等	31	0.8%	38	1.0%	▲7	▲18.4%
寄附金	56	1.4%	38	1.0%	18	47.4%
その他収入	61	1.6%	67	1.7%	▲6	▲9.0%
計	3,392	86.4%	3,327	86.3%	65	2.0%
運営費交付金(退手)	133	3.4%	74	1.9%	59	79.7%
県補助金	260	6.6%	303	7.9%	▲43	▲14.2%
積立金取崩収入	142	3.6%	153	4.0%	▲11	▲7.2%
合 計	3,927	100.0%	3,857	100.0%	70	1.8%

※端数調整の関係で増減率が一致しない場合がある

○運営費交付金が全体の50%を占めています。

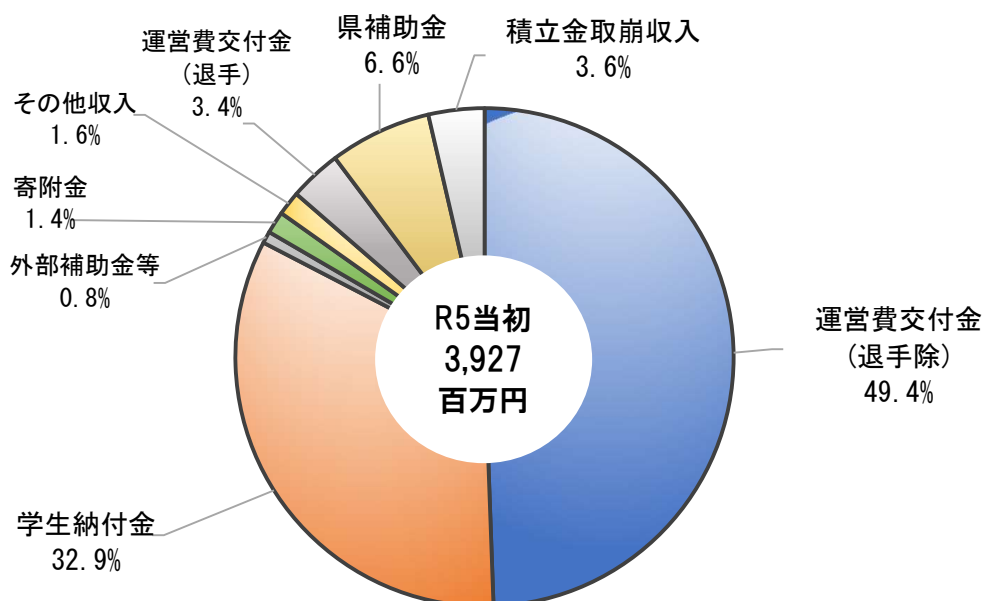
○運営費交付金(退手除)は、令和4年度人事委員会勧告の影響等により28百万円の増額となっています。

○学生納付金は、学生数の増による授業料収入の増や入学検定料の増等により、32百万円の増額となっています。

○寄附金については、「しまねの未来を担う人財奨学金(未来ゆめ基金事業)」の事業拡大や、海外研修奨学金への寄附金の活用等により18百万円の増額となっています。

○積立金取崩収入は、目的積立金を財源として実施する事業に充てるための収入として計上します。令和5年度は142百万円の取崩を予定し、11百万円の減額となっています。

※目的積立金充当事業…教育向上、学生支援、研究支援、学生確保、環境整備等に資する事業



3. 支出予算

(単位：百万円)

区 分	R5当初		R4当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育経費	379	9.7%	359	9.3%	20	5.6%
研究経費	145	3.7%	150	3.9%	▲5	▲3.3%
教育研究支援経費	181	4.6%	158	4.1%	23	14.6%
人件費（退手除）	2,417	61.5%	2,409	62.4%	8	0.3%
一般管理費	561	14.3%	578	15.0%	▲17	▲2.9%
施設費事業	59	1.5%	79	2.0%	▲20	▲25.3%
受託事業 等	47	1.2%	46	1.2%	1	2.2%
予備経費	5	0.1%	5	0.1%	0	0.0%
計	3,794	96.6%	3,784	98.1%	10	0.3%
人件費（退手）	133	3.4%	74	1.9%	59	79.7%
合 計	3,927	100.0%	3,858	100.0%	69	1.8%

※端数調整の関係で増減率が一致しない場合がある

○教育経費は、新型コロナの影響により中止していた海外渡航の再開等による各種研修経費の計上及び留学奨学金の支給対象学生の増に伴い、20百万円の増額となっています。

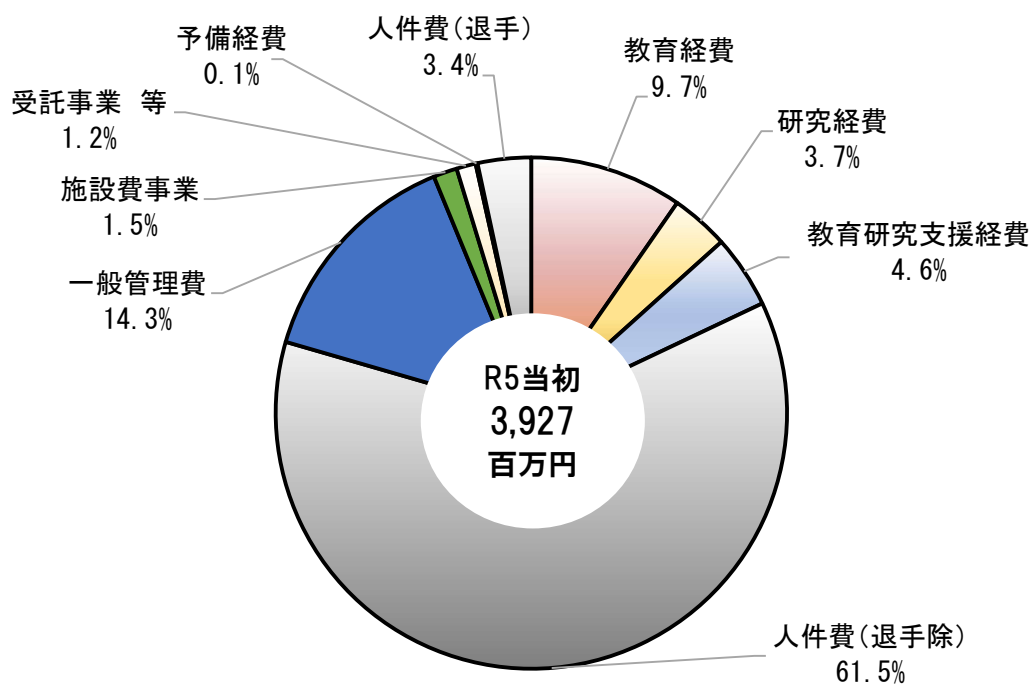
○教育研究支援経費は、教職員用パソコン更新による増等により、23百万円の増額となっています。

○人件費（退手除）は、人事委員会勧告を受けた給与改定や最低賃金の引き上げに伴う増額、非常勤職員の給与見直し等により、8百万円の増額となっています。

人件費の上昇は今後も続くと見込まれるため、人件費の抑制に向けた検討も今後の重要な課題です。

○一般管理費は、財務会計システムの改修、光熱水費の高騰による増がある一方、修繕を控えたことやホームページ改修の減額等により17百万円の減額となっています。

○予備経費は、近年の執行実績を踏まえつつ、年度途中の緊急的な支出に備え5百万円を計上しています。



Ⅲ 主な事業

1. 重点項目

(1) 県民からの期待に応える存在意義の高い大学

- ①学長裁量事業（法人本部）〈継続〉 41,000 千円
- ・令和3年度の魅力化推進本部の設置やしまね地域国際研究センターの新設に併せて整理した枠組みを継続し、大学の魅力化を進める。

項目	内容	金額(千円)
裁量枠	各Cの特性に合わせた魅力化推進事業経費として配分	4,500
学長戦略枠	しまね地域国際研究センターのプロジェクト研究費等	6,640
若手支援枠	将来的に本学の研究を担う若手研究者へ配分する研究費	9,000
地域貢献奨励金	学生の地域貢献推進奨励金	5,000
魅力化推進本部 運営経費	大学の魅力化に向けた制度構築や事業を実施 (広報、IR、入試改革・高大連携 等)	10,160
その他	出版助成、予備費 等	5,700

(2) 地域に貢献する人材を輩出する大学

- ①島根創生を担う人づくり事業(全C)〈拡充〉 30,574 千円
- ・「島根（県大）で学ぶ学生を増やす事業」「島根を学ぶ学生を増やす事業」「島根で就職する学生を増やす事業」を3本柱として事業を構築。
 - ・「YASUGI未来アトリエ」や「石見銀山まちを楽しくするライブラリー（仮称）」などのサテライト施設を活用し、高大連携の強化、地域貢献の推進、県内定着の促進といった「島根創生を担う人づくり」を強力に取り組む。
 - ・自治体や商工団体、企業と連携し、地域の担い手となる人材形成に資するキャリア支援を担当する職員を増員し、これまで以上にキャリア支援に注力する。
- ②しまねの未来を担う人財奨学金（法人本部）〈拡大〉 6,250 千円
- ・島根県立大学未来ゆめ基金を活用し、県立大学の学生の県内就職を支援するため、R3年度に奨学金制度を創設。
 - ・選考された学生25名（浜田10名、出雲4名、松江11名(四大部7名、短大部4名)）に対し、年間25万円の奨学金を給付する。
- ③地域貢献奨励金（法人本部）〈継続〉 5,000 千円
- ・学生の広域な地域貢献活動を促進するため、活動費に対する支援を行う。
- ④しまね産学官人材育成コンソーシアム事業(法人本部)〈継続〉 3,197 千円
- ・県内就職促進に向け、県内教育機関と県等により設立されたコンソーシアムの枠組みの下、企業と連携した教育プログラムの実施やしまね大交流会の開催等の取組みを引き続き実施する。

(3) 地域が抱える諸課題に対応する研究及び教育を重視する大学

- ①認定看護師養成事業（出雲C）〈継続〉 12,505 千円
- ・熟練した看護技術と知識を用いた水準の高い看護を行うことのできる看護現場のスペシャリスト「認定看護師」の養成事業を島根県からの受託事業により実施する。
 - ・医療現場等における感染対策に中心的な役割を果たす人材の育成のため、教育課程「感染管理分野」をR5年度に開講する。
- ②しまね地域国際研究センター事業(法人本部)〈継続〉 6,640 千円
- ・島根県が抱える地域及び国際的な課題に関する研究支援。研究成果を地域に還元するとともに自治体や県内企業等の各機関との連携強化を図る。

- ③診療看護師（NP）及び助産学領域の設置（出雲C）〈継続〉 6,281 千円
 ・出雲キャンパス大学院看護学研究科博士前期課程に令和2年度より診療看護師（NP）プライマリケア及び助産学領域を設置。在宅医療を支える人材及び専門性の高い助産師を養成する。
- ④入学料授業料減免制度（全C）〈継続〉 138,701 千円
 ・国の高等教育修学支援制度による入学料・授業料の減免実施のほか、国制度の対象外となる大学院及び別科に対しては県立大学の支援制度を実施する。

（4）国際交流、海外留学等の促進

- ①海外留学・海外研修等に係る奨学金（全C）〈拡大〉 25,698 千円
 ・本学の特色である「国際的な視野を持った人材養成」実現のため、学生の海外留学、海外研修等に対する支援の強化を図る。特に令和5年度は、これまで新型コロナにより渡航が難しかった学生の渡航が多く見込まれており、一層支援を強化する。
- ②海外留学等支援事業（全C）〈継続〉 1,586 千円
 ・島根県立大学未来ゆめ基金を原資として、学生が自ら企画する海外での活動に対して助成し、学生の海外渡航を支援するとともに、自ら考え行動する体験機会を提供する。

2. その他項目

（1）一般広報及び入試広報

- ①大学ホームページリニューアル事業（法人本部）〈継続〉 3,644 千円
 ・受験生等の閲覧者にとって、見やすく・わかりやすいホームページへリニューアルを行う。デザインやページ構成を見直し、大学の魅力発信に資するホームページを作成する。
- ②新聞・テレビ等を活用した広報事業（法人本部）〈継続〉 2,692 千円
 ・新聞やテレビ番組等を活用し、広く大学の魅力をPRする。
- ③WEBオープンキャンパス特設サイト（法人本部）〈継続〉 341 千円
 ・新型コロナ対策として令和2年度に実施したWEBオープンキャンパスを継続して実施する。対面形式との併用を図り、本学志願度の向上やミスマッチの軽減に繋げる。

（2）その他

- ①光熱水費の高騰に対応する経費（各C） 115,645 千円
 ・燃料価格の上昇による光熱水費の高騰を受け、安全な学生生活の確保のため必要な光熱水費を措置する。
- ②おはなしレストランライブラリー事業（松江C）〈継続〉 6,342 千円
 ・授業での実践的な学びの場として、地域住民への絵本の貸出、学生による絵本の読み聞かせ活動などを実施する。

○ (R5当初) 「島根創生を担う人づくり事業」一覧

対象	事業名	新規/拡充	事業概要	R5当初
島根(県大)で学ぶ学生を増やす事業 <広報・入試・高大連携>				13,598
高校との連携事業				2,566
1	KENDAI未来アトリエ	継続	○ 本学に関心がある高校生を取りこぼさないよう、進路選択を継続的に支援するため4カ月程度の複数講座(対面・オンライン)を実施。	966
2	高大で連携するバーチャル国際交流	継続	○ オンラインの国際交流、留学体験談、グローバルをテーマにしたトークセッション等を実施。海外協定校、本学卒業生、留学体験者、グローバルに活躍する著名人を講師として招聘。	300
3	高大で連携する国際交流活動	拡充	○ 県内高校生を対象に本学外国人留学生や本学帰国子女がラーニングパートナーとして国際交流、外国語学習機会を提供する。	200
4	高大で連携する大学訪問・学生企画	拡充	○ 高校生の進路に影響を持つ保護者も参加者に含め、学生に高大で連携するイベントを企画してもらい実施する。	630
5	図書館イベント事業	継続	○ 図書館を高大連携の視点の一つとしてイベントを実施する。(高大で連携する大学訪問・学生企画に予算を集約。)	0
6	探究学習指導研修会	継続	○ 探究学習の指導方法について高校教員向けに研修会を実施し、高校教員に、本学の総合型選抜について理解を深めてもらう。	38
7	健康寿命延伸プロジェクトinますだ	継続	○ 県西部からの健康栄養学科への入学者が少ないため、当該地域の高校生に対し管理栄養士の関心・理解を高めるとともに、健康栄養学科をPRする。	220
8	高大共育型入学前理系教育のススメ	継続	○ 大学入試共通テストを課さない入試区分による学生の入学までの理系教育の強化等により、高校と連携し地域の看護師・保健師教育の基盤を強化。	40
9	県西部における保育士希望学生確保事業	新規	○ オープンキャンパスに加え、対象を絞った本学の紹介イベントを県西部で実施し、西部出身の入学者を確保する。	172
大学の独自事業				11,032
10	連携校推薦等入試制度PR事業	継続	○ 学校推薦型選抜(連携校推薦)の出願者は、入試を通じた「連携活動」のために浜田C(地域づくりコース)では2回、出雲C(看護栄養学部)では1回、大学に来る必要があり、これに要する交通費・宿泊費相当額を支援。	400
11	WebDMによる情報発信事業	継続	○ 浜田C新入生が入試情報のために最も活用している「スタディサプリ」において大学情報のDMを配信。ターゲットとする県内受験生に対して効果的に発信。県大の認知度を向上させ、志願者増を図る。	550
12	高大連携協力等学生促進事業	継続	○ 県内高校等の大学訪問について、施設見学や学生・高校生等との交流等のイベントへの企画・運営等に学生が参加。高校生等にとってより興味深く充実した高大連携活動等を実現。	300
13	高大連携担当職員配置	継続	○ 「人づくり事業」の実施期間中(R4~R6)に必要な高校との諸調整、受け入れ準備にあたる担当職員を配置	2,945
14	高大連携担当職員の追加配置	新規	○ 「人づくり事業」の実施期間中(R5~R6)に更なる高大連携の拡充を目指し、学長補佐を配置	5,461
15	県立大発! 地元未来創生プロジェクト <高校生学習支援サイト>	継続	○ 出雲C学生の就職支援WEBサイト「就職オンラインマルシェ」に、高校生学習支援サイトを追加。情報発信による早期交流によって高校生の本学の学びについての理解を促進し、高校生の地元企業や病院への愛着を形成。	1,376
島根を学ぶ学生を増やす事業 <地域貢献推進・フィールドワーク>				7,019
16	大森まちなか図書館における実践型教育推進事業	継続	○ 「大森まちなか図書館」(大田市大森町旧松原邸を改装)を拠点とした地域貢献活動と学生への実践的教育を実施。	4,500
17	「島根の地域医療」における県西部を主としたフィールドワーク新設	継続	○ 看護栄養学部2年次の必修科目「島根の地域医療」において行うフィールドワークに、県西部の医療機関を追加。県西部の地域医療における課題や県内の医療の偏在等の実態をより深く学ぶ。	519
18	こどもの読み書き・学習支援による地域貢献事業	拡充	○ 読み書きに困難を抱える児童に対して学生が学習支援を行うことにより、支援スキルの向上を図るとともに地域貢献を推進。	412
19	ミライキッズ山陰プロジェクト/こどものだいがく事業	継続	○ 「ミライキッズ山陰実行委員会」と連携・協働し、心身ともに健やかな島根の子どもを育てるイベントを学生が企画。また、地域の子どもたちが大学で学ぶ体験に学生が企画し、体験を通して学び地域に関わった大学をPR。	1,320
20	こっそり畑プロジェクト	新規	○ 食育スキルをもった保育士像の確立を目指し、松江農林高校との共同により地域の親子活動の場を提供する。	268
島根で就職する学生を増やす事業 <キャリア支援・インターンシップ>				9,957
21	低学年向けキャリア支援拡充事業	継続	○ 低学年時(主に2年生)へのキャリア支援の充実のため、各種のイベントを開催(委託)。県大の先輩や卒業生から就活についてや、県内の複数企業の社員から仕事のやりがいや求める人材などを学ぶ。	1,630
22	県立大発! 地元未来創生プロジェクト	継続	○ 看護栄養学部3・4年生を対象に「しまね就職オンラインマルシェ」を開催。県内複数の医療機関等が参加。また、県西部・山間・離島地域の医療機関等にインターンシップを行う。	462
23	官民トップ人材による講演事業	継続	○ 民間企業又は公務で活躍する人材を招き、地域で働くことに関する講演を実施。学生の県内就職に向けたモチベーションを向上。	300
24	低学年向けバスツアー事業	継続	○ 低学年時(1,2年生)へのキャリア支援の充実のため、企業見学バスツアーを実施。(年5回)	600
25	しまねPBL演習	新規	○ 地域課題解決型の演習を県内企業と連携して実施。社会人基礎力として求められる、考え抜き、チームで働く力を養うことを目的とする。	363
26	県西部保育士確保支援事業	新規	○ 「しまねの福祉・保育職場合同相談会」浜田会場への学生送迎や県西部保育事業所見学ツアーを実施し、特に県西部での保育士就職を支援する。	250
27	長期(有償型)インターンシップ	継続	○ これまで、一般社団法人イワミノチカラ、NPO法人てごねっと石見、株式会社ジュンテンドー、島根電工株式会社において実施。	
28	キャリア担当職員配置	新規	○ 「人づくり事業」の実施期間中(R5~R6)にキャリア支援にあたる担当職員を配置	6,352
合計				30,574